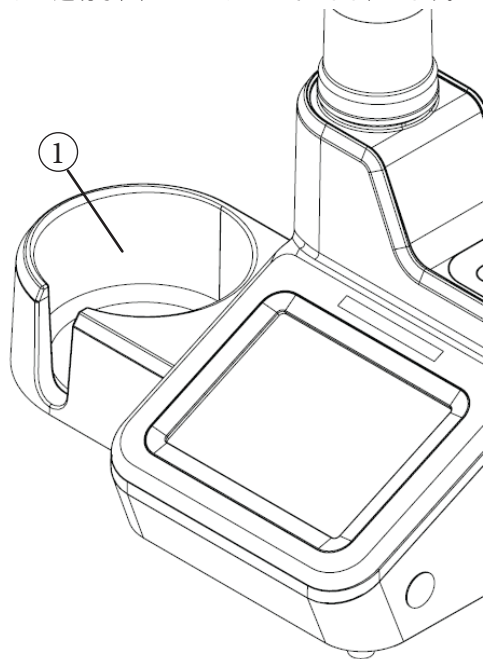
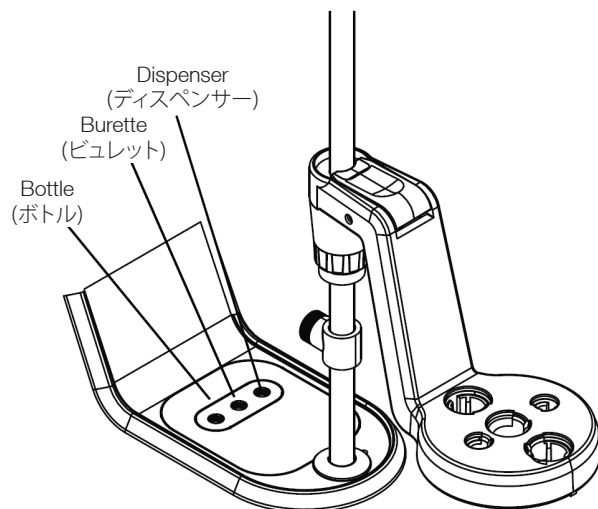


4. 試薬ボトルホルダー①を装置左側のブラケットに接続するか、ラボのベンチの適切な位置にホルダーをそのまま置きます。



5. チューブの取り付け

- 黒の接続具のついたチューブを使い、「dispenser (ディスペンサー)」バルブポートとディスペンサープローブを接続します。
- 青の接続具のついたチューブを使い、「burette (ビュレット)」バルブポートとビュレットキャップを接続します。
- 白の接続具のついたチューブを使い、「bottle (ボトル)」バルブポートと試薬ボトルのキャップを接続します。



6. 電極と電源を接続します。
- 測定用の電極を **BNC** 入力に接続します。
 - 該当する場合、基準半電池を **REF (基準)** 入力に接続します。
 - 該当する場合、ATC 温度プローブを **ATC** 入力に接続します。
 - ステアラープローブを **STIRRER (ステアラー)** 入力に接続します。
 - USB ドライブとプリンタを **USB A** に接続し、または、コンピューターを **USB B** 入力に接続します。
 - 電源を **POWER (電源)** 入力に接続します。



滴定装置の準備

本機に最初に電源を投入すると Instrument Setup Wizard (装置設定ウィザード) が表示されます。[Start Setup (セットアップ開始)] ボタンをクリックします。言語、時間、日付、温度単位、装置名を含む一般設定画面が表示されます。

滴定剤を選択し調製します。Home (ホーム) 画面から、[Burette (ビュレット)] アイコンを押し、Burette Setup and Maintenance (ビュレットのセットアップとメンテナンス) 画面に進みます。ディスペンサープローブの下に廃液ビーカーを置いてください。滴定の前に 3~5 回の洗浄サイクルを行い、ビュレット、チューブ、ディスペンサープローブに滴定剤を流入させます。

Home (ホーム) 画面から、[Start a New Titration (新規の滴定を開始)] ボタンをタップします。装置によるセットアップパラメータや必要な一連の手順の案内を参照して滴定を進めます。

www.thermofisher.com/T900titratorseries からソフトウェアアップデートをダウンロードし、最新の機能にアクセスできます。

詳しくは thermofisher.com/water をご覧ください

© 2017 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved. すべて登録商標は、特に指定のない限り、Thermo Fisher Scientific および関連子会社が所有しています。68X700215 1217

thermoscientific



Thermo Scientific Orion Star T900シリーズ 滴定装置クイックスタートガイド

滴定装置の開梱

各滴定装置には、以下の品目が同梱されています。

- 20 mL ビュレット
- ビュレットカバー
- 電極用ホルダー
- ステアラープローブ
- ディスペンサープローブ
- チューブキット
- 乾燥剤チューブ
- 試薬ボトルホルダー
- 1 L プラスチック試薬ボトル
- GL38 試薬ボトルキャップ
- USB ケーブル
- USB ドライブと取扱説明書
- 110~240V 電源アダプター

thermoscientific

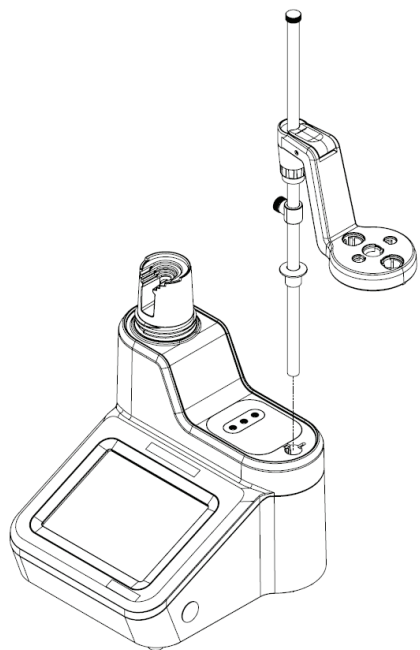
改訂版 0.1
2017年12月

ThermoFisher
SCIENTIFIC

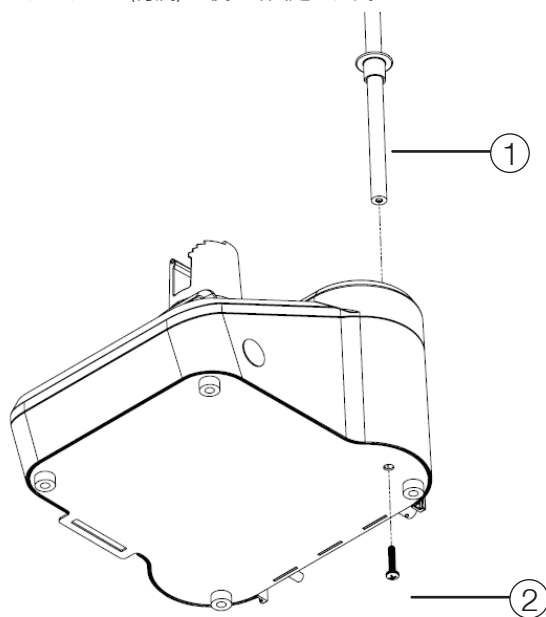
滴定装置の組み立て

1. 電極ホルダーシャフトの取り付け

- 滴定装置上部の穴にシャフトを挿入し、シャフトのスロットをホルダーのトラックに合わせます。

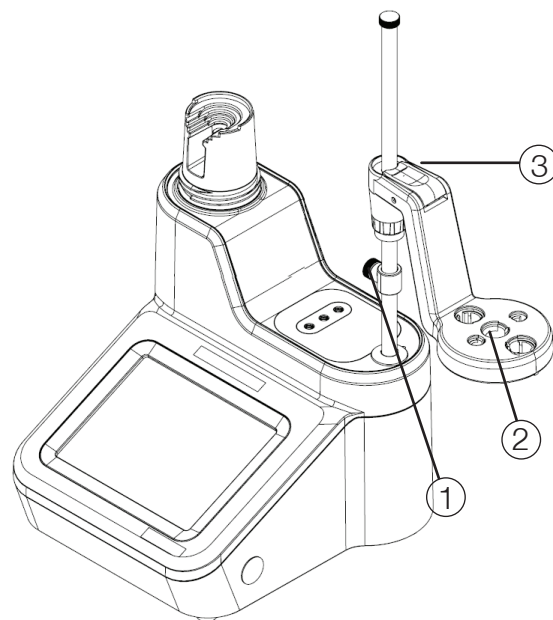


- 滴定装置の底面下部でシャフト①をセルフアップねじ②とTorx T20 ドライバー (付属) を使って固定します。



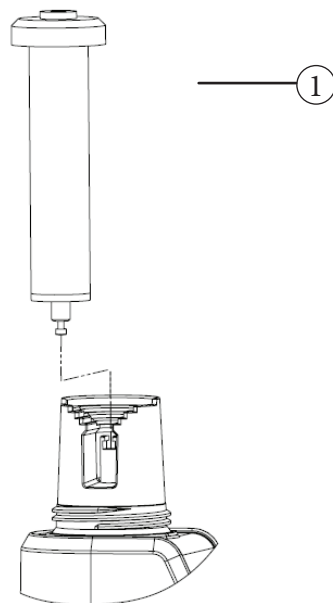
2. 電極用ホルダーヘッドの調整

- ストッパー①を電極ホルダー②ヘッドの下に配置し、ヘッドの青いボタン③を押して高さを調整します。電極とプローブを、電極ホルダーヘッドにある、ラベルが付いているスロットに挿入します。

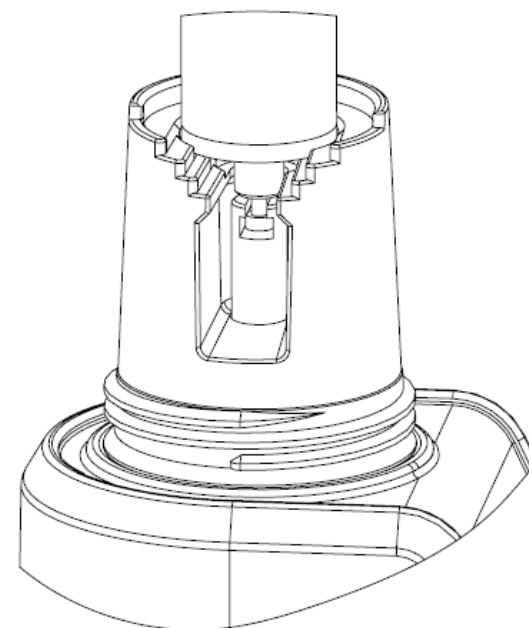


3. ビュレットとカバーの取り付け

- ガラスビュレット①の中心を持ち、ビュレット底部のピストンボールを装置上部の留め金にはめます。



- ビュレットを軽く押し下げ、ビュレットのガラス管を本体の調心リングに降ろします。



- ビュレットの上にビュレットカバー②をかぶせ、カバーを軽くねじ込み、ビュレットの頂点がカバーの開口に合うようにします。

